

2. 指標設定

成果指標	指標名	人権教育の推進		H27	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画／後期基本計画において、基本施策(6-2-1)の重点施策のため			
活動指標	指標	a	講座回数	b	参加人員	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
人権教育の推進		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 講座回数	回	53 回	79 回	82 回
b 参加人員	人	854 人	1,494 人	2,566 人
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
人権に関する関心や認識は高まっているものの、依然として人権8課題の問題が残っている。
対応（改善点等）
公民館の人権講座と各種団体への講師派遣及びフィールドワークの実施により学習会の促進を図る。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

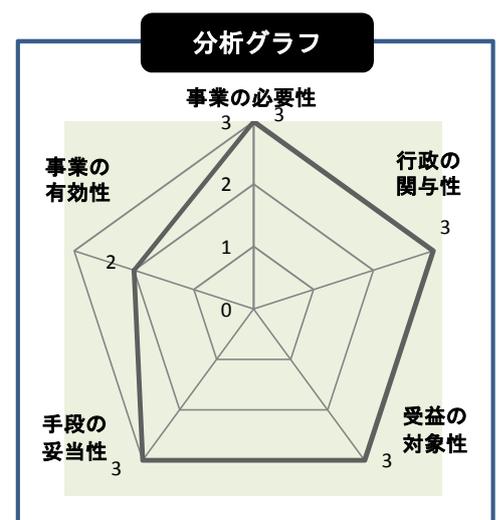
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		1,598	1,423	1,077	1,420
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他		32	48	30
	一般財源	1,598	1,391	1,029	1,390
うち経常		1,598	1,391	1,029	1,390
事業費に係る人件費		7,082	5,913	5,160	5,153

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市民一人ひとりが人権意識の高揚を図り、明るく住みやすい地域環境の育成のため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民一人ひとりが尊重され生きがいを持って暮らすためには、人権教育の必要があるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 さまざまな差別解消に向けた取り組みは、行政の責任において取り組まなければならないため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民全体を対象としているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市内7つの各町で同一受講者による5回の連続講座を実施し、アンケート等を見ると講座の成果が見られるため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 人権問題が解消できたとは言えないため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題解決のための手法を検討し効果を上げること